

私たちは、特定秘密保護法が2013年12月6日に強行採決されて以来、これが国民の目・耳・口をふさぎ、戦争する国に導くものと訴え、毎月6日に「秘密法廃止ロック宣伝行動」を行っています。

「デジタル庁構想」？

何のため？？？



新型コロナウイルス感染の「緊急事態」に便乗して、スガ政権は今、「デジタル社会」を強引に進めようとしています。

新たに「デジタル庁」を創設し、それを司令塔に国、自治体などのシステムを標準化するとともに、マイナンバーカード、キャッシュレスカード等の普及拡大で、国民の個人情報も一括集中管理しようとするものです。行政の効率化と市民生活の利便性の向上を唱っていますが、個人情報保護や情報管理の民主的管理が無いもとはとても危険なものです。

スガ政権は、杉田副官房長官など警察官僚に牛耳られ、国民敵視、言論の封じ込め政治を強めています。その象徴が日本学術会議会員任命拒否問題です。「デジタル庁構想」も国民監視、警察国家づくりの一環です。

監視社会、警察国家はイヤだ！



命と暮らしを守る政治を！

秘密保護法廃止を求める岐阜の会

連絡先:岐阜市美江寺町1-22 河合法律事務所内 TEL 058-262-7997

ご参加ください！～平和・自由・いのちを守る～もう黙っとれんアクション実行委員会 主催

もう黙っとれんアピールあくしょん

「命と暮らしを大切に！」「市民と野党の共闘で政治の転換を！」のボードを掲げアピールします。

2月19日(金) pm5:00~5:45 十六銀行前(名鉄岐阜駅)